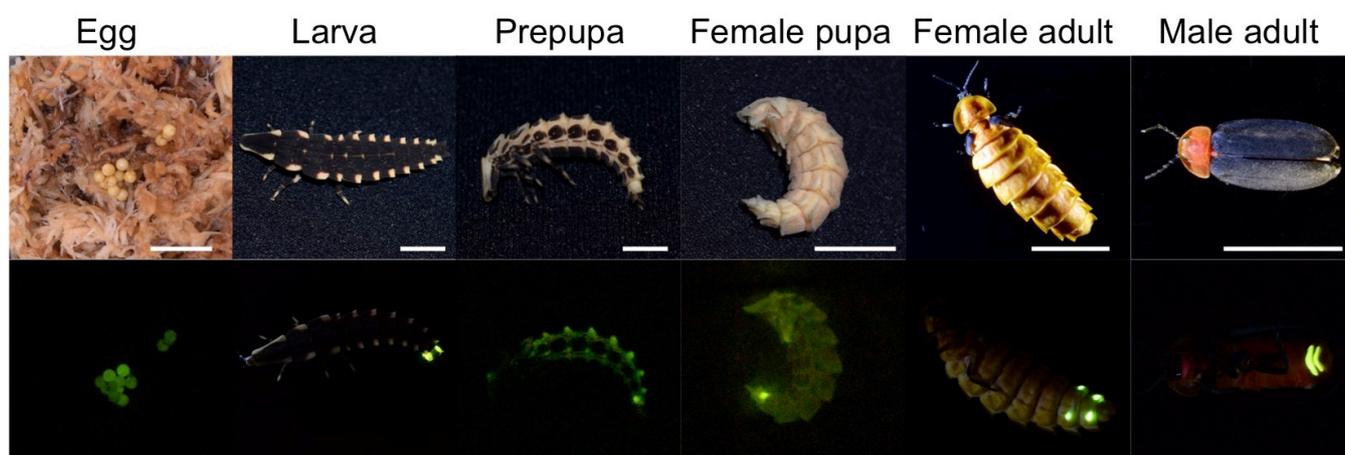


第143回 システム自然科学研究科セミナー 第47回 生物多様性研究センターセミナー

- 日時：平成29年11月10日（金） 午後3時より
- 場所：名古屋市立大学 山の畑キャンパス 4号館大講義室
- 講師：別所 学 博士（中部大学・応用生物学部）
- 題目：**ホタルルシフェラーゼの遺伝子重複：
光るのはおしりだけじゃないんです！**



夏の風物詩であるホタルは、平安時代から親しまれ、川辺の宵を彩ってくれます。ホタルの成虫は、おしり（腹部第6・7節）に発光器を持ち、そこから放たれる光を私たちはよく知っています。しかし、実は、ホタルは幼虫も発光器をもち、光ります。さらに卵や蛹も光ります。ところが、よく観察してみると卵や蛹は、発光器からの発光ではなく、全身がぼやーっと光り続けます。本セミナーでは、このホタルの卵や蛹の発光に用いられている酵素・ルシフェラーゼが、従来知られていた発光器において使われているルシフェラーゼとは異なること、さらに2つのルシフェラーゼがどのように進化してきたのかについてお話しします。

山の畑キャンパスへの道順：<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/location.html>
問合せ先：熊澤 慶伯（名市大システム自然科学研究科、電話：(052)872-5844）

学内外の教員・学生・市民の皆様の御参加を広く歓迎致します（参加は無料）。